

The Whisper from Amherst

～エミリーのささやき～

舞台の幕が上がり、お芝居が始まる瞬間のような詩を見つけました。エミリーが自分の部屋の窓にたたずんで詠んだ詩でしょうか。

‘Lightly stepped a yellow star’

ライトウリー ステップトゥ ア イェロウ スター
Lightly stepped a yellow star

スルスルっと黄色い星が

トゥ イツ ロフトウリー プレイス
To it's loftly place

天の高みへ昇って行きー

ルー ストゥ ザ ムーン ハー スィルヴァー ハットゥ
Loosed the Moon her silver hat

月の清らかな顔から

フロム ハー ラストゥラル フェイス
From her lustral Face

銀の帽子を脱がしたー

オール オヴ イーヴニング ソフトウリー リトゥ
All of Evening softly lit

まるで星の大広間みたいに

アズ アン アストゥラル ホール
As an Astral Hall

夕暮れがみなそおっと明るくなったー

ファーザー アイ オブザーヴドゥ トゥ ヘ ヴン
Father I observed to Heaven

神様、わたしは天に向かって言いました、

ユー アー パンクチュアル
You are punctual-

あなたって几帳面な方ね。

(「エミリー・ディキンソン詩集」中林 孝雄 訳)

夕暮れ時から夜に変わる瞬間をじょうずにとらえています。日が沈み、群青色の空に一番星が輝いたかと思うと、月が出て空が明るさを少し取り戻す様子を、イギリスのわらべ歌 ^{ナーサリー ライムズ} Nursery Rhymes のようにかわいらしく表現しています。loose には「結び目を解く」という意味もあるので、ひもを首のところで結ぶタイプのあかちゃんのお帽子に満月がすっぽり包まれている様子が目に浮かぶようです。

lightにはたくさんの意味があります。名詞としては光、明るさ、照明、電気など。形容詞としては明るい、色が薄い、軽いなど。他動詞としては、火をつける、明るくするなど。自動詞としては火がつく、明るくなるなど。本当にたくさんあって便利なのですが、混乱する人もいます。この詩に使われているlightにlyがついた副詞lightlyは「軽く」という意味で、訳者は「スルスルっと」ということばで星が高いところへ軽々と昇っていく様子を表現しています。

litは動詞の過去形で、「明るくなった」と訳されています。明るい月といえば、わたしはエリック・カールの絵本「はらぺこあおむし」や「パパ、お月さまをとって」のページいっぱい描かれている大きなお月さまを思い出します。エリック・カールの絵本をまだ開いたことのない方はどうぞ図書館に足を運んでみてください。英語版もあります。また、もしも機会があれば、エミリーの出身地アマーست町に2002年に建てられたエリック・カール美術館もおすすめです。ヨーロッパに比べればまだまだ歴史の浅いアメリカ文学ですが、たくさんの作家がエミリー・ディキンソンの影響を少なからず受けていることでしょう。

Nellie's Mom



「はらぺこあおむし」の1ページ目



「パパ、お月さまをとって」



一番星